

いなほ

11

Vol.77

発行元 社会医療法人凌雲会・社会福祉法人凌雲福祉会 / 板野郡藍住町笠木字西野50-1 / ☎（088）692-5757

社会医療法人 凌雲会
社会福祉法人 凌雲福祉会

理事長／稲次美樹子

理事長就任あいさつ

この度、社会医療法人 凌雲会、
社会福祉法人 凌雲福祉会の
理事長を拝命いたしました。

長年にわたり地域医療の最前線で
尽力をしてこられた諸先輩方の歩み
に敬意を表し、その想いを受け継ぎ
ながら、新たな時代の医療・介護・
福祉の形を模索してまいります。

日本全体でも少子高齢化が急速に
進み、診療報酬制度も一層厳しさを
増す中で、法人を取り巻く環境は決
して容易ではありません。徳島県に
おいても例外ではなく、人口減少に
伴う患者構成の変化、そして若年層
を中心とした県外への人材流出は慢
性的な課題となっています。担い手
が減る一方で、地域に必要とされる
医療・介護、福祉の質を保ち続ける
ことは、これからの大きな挑戦です。
そうした中で、私は「地域にとつ
て価値ある病院・施設とは何か」を
改めて問い直したいと考えていま
す。それは単に病床を維持すること

医療・介護・福祉が持続できる地域をめざして 働く人が幸せでいられる組織をめざして

ではなく、地域に暮らす人々が安心
して医療・介護を受けられる体制を、
時代に即した形で持続させることだ
と考えます。そのためには、必要に
応じて組織の改革も視野に入れつ
つ、効率的で無理のない運営を進め
ることが重要です。

また人手不足が今後も続くことを
前提に、法人として積極的にDX（デ
ジタルトランスフォーメーション）
を導入し、業務効率化と負担軽減を
進めていく方針です。電子化や業務
フローの見直しを通じて、スタッフ
一人ひとりが専門性を発揮しやすい
環境を整えることで「働く人が幸せ
でいられる組織」を目指していきま
す。

同時に、利用される患者さんやご
家族の皆さんにも「この病院・施設
を選んでよかった」と感じていただ
けるよう、温かく丁寧な医療・介護・
福祉を提供し続けることが私たちの
使命です。

職員一人ひとりの力を結集しなが
ら、凌雲会、凌雲福祉会が次のステー
ジへと進むための確かな一歩を踏み

出したいと思います。

今後とも、変わらぬご理解とご支
援を承りますようお願い申し上げま
す。



社会医療法人 凌雲会
稲次病院

院長／稲次圭

院長就任あいさつ

このたび、社会医療法人凌雲会稲次病院の院長に就任いたしました、稲次圭と申します。日頃より、当院をご利用くださっている地域の皆さま、そして地域の皆さまの健康を支え、患者さん一人ひとりに真摯に向き合ってくださいている職員の皆さんに、心より感謝申し上げます。

凌雲グループは、

「医療・介護・福祉の発展に
努め、地域の健康と安心を
守るとともに、全職員の物
心両面の幸福を追求する」

という基本理念を掲げました。

私たちの使命は、病気を治すことだけでなく、患者さんやご家族が「ここに来てよかった」と感じていただける、安心かつ信頼できるサービス

「地域の健康を守りながら、働く人の幸せも大切にする」
「“自利利他”の精神を胸に、これからの稲次病院をつくります」

を届けることだと考えています。と同時に、働く私たち自身が幸せを感じ、成長できる場でもあると考えています。

また、私たちが大切にしようとしている「自利利他」の精神、言い換えると、各職員が自分の幸せや成長を大切にしながら働くことで、その力が患者さんや仲間、そして地域の幸せへと広がっていく。

そんな良い循環を、この病院全体で育んでいきたいと思っています。

これからの稲次病院は、「安心して通える場所」「ここで働けてよかったと思える職場」を目指してまいります。

患者さんにも職員にも信頼される存在であり続けるために、皆さんの声を大切にし、共に成長できる組織を築いていきたいと思っています。

これからも地域の皆さまと共に歩みながら、安心と信頼のある病院づくりに努めてまいります。

どうぞ今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会医療法人 凌雲会
社会福祉法人 凌雲福祉会

会長／稲次 正敬

会長就任あいさつ

47年間の歩みに、

心からの感謝を

込めて

この度、社会医療法人 凌雲会ならびに、社会福祉法人 凌雲福祉会の理事長を退任し、凌雲グループ会長に就任いたしました。

昭和五十三年（一九七八年）に稲次整形外科を開設してから四十七年が経った今、一番強く思うことは感謝の気持ちです。

私達の凌雲グループをご利用くださった患者さん・利用者さん、また開設当初よりお世話になった関係者の方々はもちろんのこと、共に働いてくれた仲間たちには心より感謝しています。

これまで、たくさんの方々のお力添えをいただいたおかげで、今日までやっていくことができました。本当にありがとうございます。

そしてこれからは、会長として、また一人の医師としてお世話になった皆様方に出来る限りの恩返しをしたいと思っております。微力ではございますが、もうあと少し（？）体力と気力が続く限り、頑張っている所存でございます。

引き続き、新体制となりました凌雲グループを末永くよろしくお願い申し上げます。

これからも地域のために、
恩返しの医療を
続けてまいります



地域になくてはならない医療機関として存在出来るように

社会医療法人 凌雲会
稲次病院

名誉院長／湊省

名誉院長就任あいさつ

本年七月稲次病院院長を辞任し、
名誉院長に就任しました。

二〇一〇年四月院長就任以来、長期にわたり大変お世話になりありがとうございました。

この間、当院はそれまでのリハビリテーションを中心とした病院から、内科的治療の充実、高齢者の大腿骨近位部骨折を中心に運動器の初期治療（手術的治療）などの増加に努め、病院名も「稲次整形外科病院」から「稲次病院」に変更、地域に密着した地域病院へと変革するべく努力してきました。この間、〇―157や新型コロナウイルスの流行などの対策に苦労がありました。これまで地域医療機関として皆様方の期待に充分には応えられなかったのではないかと危惧しています。

日本では一九六一年より世界的に類を見ない国民皆保険制度（公助、

共助、自助の組み合わせ）のもと医療が行われていますが、現在、日本は世界一の超高齢化社会の拡大と長期にわたる経済成長の停滞でこの制度を持続する上で頻回の医療制度改革は避けられず、近年全国的に多くの病院が経営的に苦境に陥りその活動がこれまでと同様に持続することが困難になっています。

稲次病院は地域の人口動態、地域医療提供体制の変化など当院を取り巻く環境は時々刻々と変化する中、今後これらに対応しながら地域の要望に応える地域病院として長く存在していかなければなりません。

今回、次世代にバトンタッチし新しい感性でこの難局を乗り切り、今後将来にわたり地域にあつてなくてはならない価値ある医療機関として持続的に存在できるようにと期待しています。微力ではありますが、私に皆様が評価できる能力がある間は稲次病院の発展に少しでも寄与できればと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。



大西サカエさん 百歳お祝い

藍寿苑に入所されている大西サカエさんが、令和七年四月十七日に百歳を迎えられました。

大西さんは藍住町奥野に六人兄弟の末っ子としてお生まれになりました。小学校卒業後は推薦を受けて東邦レーヨンに就職されました。二十歳頃に同じ職場に勤めていたご主人と結婚され、藍住町乙瀬で暮らし、三男二女のお子様に恵まれました。



結婚後は水道工事の仕事を始め、昭和三十八年には会社を設立されました。平成三年頃にご主人を亡くされた後は、息子様ご家族と同居され、鼻通所リハビリを利用しながら、メデイション凌雲へご入居、令和四年九月からは藍寿苑で生活されています。百歳のお祝い会当日は、長男ご夫婦・次男ご夫婦・お孫様のお嫁さんなど五名のご家族が来苑されました。徳島県東部保健福祉局局長様、藍住町町長様、藍住町職員様、稲次会長もお祝いに駆けつけられ、藍寿苑職員や利用者様とともに盛大なお祝いをいたしました。式典では、賞状と記念品が贈られ、お祝いの言葉や歌のプレゼントもありました。大西さんはところどころでお礼の言葉を述べられ、最後まで笑顔で過ごされました。記念撮影も行い、ご本人様もご家族様も大変喜ばれ、たくさん笑顔に包まれたひとときとなりました。

寒川モトエさん 百歳お祝い

介護老人保健施設 昂 訪問リハビリテーションをご利用されている、寒川モトエさんが令和七年五月二二日百歳を迎えられました。

寒川さんは、藍住町富吉で七人きょうだいの五女としてお生まれになられ、現在は鳴門市大麻町にお住みです。二十歳で結婚され、その時代は藍住から大麻に行く橋がなく渡し船にて移られたことが非常にびっくりした思い出のことです。三十五歳頃から定年退職まで保険会社で働きながら二男一女を育てあげられました。お仕事をお辞めになられたからは、趣味の野菜作りや自宅内で

ご主人さんの書道教室をお手伝いされたりと楽しまれました。毎朝、新聞を隅々まで読まれており食事もしっかりととられております。稲次正敬会長から祝い状を渡され、これからも頑張って長生きしていきたいとおっしゃられています。



リハ通信
シリーズ
Vol.44

社会医療法人 凌雲会 稲次病院
リハビリテーション部

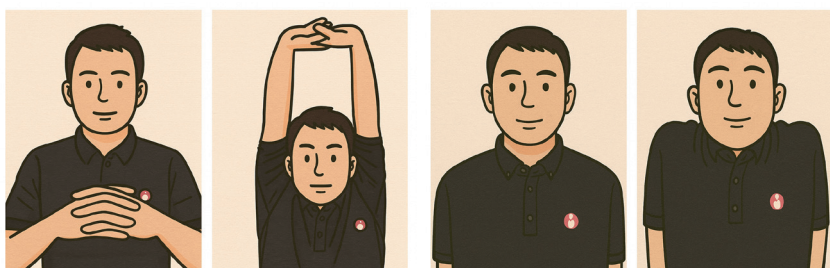
作業療法士／福村 麻衣子

肩こり対策

若年層から老年層まで、肩こりを抱えながら生活している方は多いと思います。肩こりの主な原因としては、「悪い姿勢」「運動不足」「ストレス」「血行不良」「眼精疲労」などが挙げられます。特に同じ姿勢を長時間続けると、筋肉が固まり、疲労物質が溜まりやすくなるため、こりや痛みにつながります。

予防や改善のためには、まず姿勢を見直すことが大切です。背筋を伸ばし、頭の位置が前に出すぎないように意識することで、肩への負担を軽減できます。また、一時間に一回程度、軽いストレッチで血流を促すのも効果的です。簡単にできる体操をいくつか紹介します。呼吸を止めずに、ゆっくりと行うことがポイントです。肩の上げ下げは、肩を耳に近づけるようにすばめた後、肩の力を抜いてストンと落とす（図1）。

背伸びは、手を組んだ状態で頭の上に上げて伸ばす（図2）。痛みのない範囲で行ってください。さらに、十分な睡眠を取ることや、首・肩周りを温めて血行を良くする、適度な運動を取り入れることも大切です。肩こりは、日常のちょっとした工夫や習慣の改善によって、十分に予防・緩和が可能です。冬が近づく寒くなる時期ですが、無理のない範囲で体をほぐし、肩こり予防を意識して、元気にお過ごしください。



（図1）

（図2）

介護保険
シリーズ
Vol.44

介護老人保健施設 居宅介護支援事業所
介護支援専門員 管理栄養士 介護福祉士

副主任／仁木 千恵子

ケアマネジャーの大切な役割

写真に写っている三名のケアマネジャー（オレンジのユニフォームを着た凌雲グループのスタッフ）は何をしていると思いますか？



答えは、診察の同席待機です。

介護保険制度には、利用者さんの診察に同席して心身状況や生活環境等の必要な情報を共有した場合に算定できる「通院時情報連携加算」があります。ケアマネジャーから医師（歯科医師を含む）へ日常生活の様子・

体調・服薬状況・介護保険サービスの利用状況等を伝え、治療方針や生活上の注意点などの必要な情報提供を受けた上で居宅サービス計画に記録します。

厚生労働省の資料では、病院側の効果として『患者さんの家での様子がよく理解できた』、ケアマネジャーからは『治療の内容や、介護の時に気を付けるべき点についてアドバイスを受け介護者やサービス事業所と情報共有することができた』という意見が多くあったというデータが出ています。

ケアマネジャーが診察に同席し、利用者さんが『主治医に伝えたいことを伝えることができていたか』『主治医の説明を理解できているか』などを確認することで、ご自身の病気や症状とうまく付き合いしながら在宅生活を送れるようサポートすることも、介護保険サービスの調整役であるケアマネジャーの大切な役割の1つです。

医療機関やサービス事業所と連携し、利用者さんやご家族の状況・希望に合わせた支援を行うことで、できる限り穏やかな在宅生活を送れるよう今後も支援させていただきま



ディルマンさん

ロバートさん

昂にてデン先輩と

アリス学園介護福祉学科一年生の介護実習が始まり、八月の夏休みにも三名の学生が、アルバイトに来てくれました。昂には、ロバートさん、ディルマンさん、藍寿苑には、エニさんです。

九月の夏休みには、アリス学園介護福祉学科二年生四名が、アルバイトに来てくれました。こちらは、既に施設実習も始まっており、昂には、ティヤさん、ゲチャさん、藍寿苑には、ウランさん、チョさんです。そ

海外通信 奨学生 だより

凌雲グループ

外国人サポート課

薬剤師／秋山郁恵

アリス学園

穴吹学園

それぞれ、アリス学園の先輩から、いろいろ指導を受け、有意義なアルバイトになりました。



エニさん

藍寿苑にてアルド先輩と



DESTAさん

イルビさん

ヤスミンさん

リスカ校長

穴吹学園にて
穴吹アカデミーインドネシア校リスカ校長と

令和七年十月十日に穴吹カレッジ日本語学科で秋季入学式が、開催されました。この度、入学したのは、イルビさん、DESTAさん、ヤスミンさんの三名で、三名ともインドネシアからやって来ました。午前中に、昂や藍寿苑でアルバイトをしながら、午後は日本語の勉強に通います。どうぞよろしく願います。

健康への第一歩

減塩のコツ



社会福祉法人 凌雲福祉会
特別養護老人ホーム 藍寿苑

栄養課 管理栄養士／吉田 恵美



塩分摂取の基準量を知っていますか？推奨される一日の食塩摂取量は男性で7.5未満、女性で6.5未満となっています。しかし、実際は平均値約10gが現状です。

日本料理には塩分がたくさん含まれているものが多く、つい摂りすぎてしましますよね。

塩分が多い食べ物で代表的なもの「ラーメン」を例に挙げると、

ラーメン一杯の食塩は6g前後です。特にスープには多くの塩分が含まれています。

スープをほとんど飲まない方は約1.5g、半分飲む方は3gに抑えることができ、いかに減塩対策でスープを残すことが大切か分かります。

ナトリウムは私たちの体に必要不可欠ですが、摂りすぎると高血圧や

動脈硬化を進め、様々な健康被害につながります。

調理の工夫により、無理なく減塩を継続できるように心がけましょう。

減塩調理の工夫

- 生姜やんにんにく、大葉などを使い、香りを生かす。
- 酸味を効かせた味付けにする。
- 調味料は加熱後に加える。
- うま味調味料や減塩商品を上手に使う。

● カリウムを多く含む食べ物でナトリウムを排出させる。

日々の小さな積み重ねが、これからの健康を守ります。できることから意識してみよう！

カリウムを多く含む食品

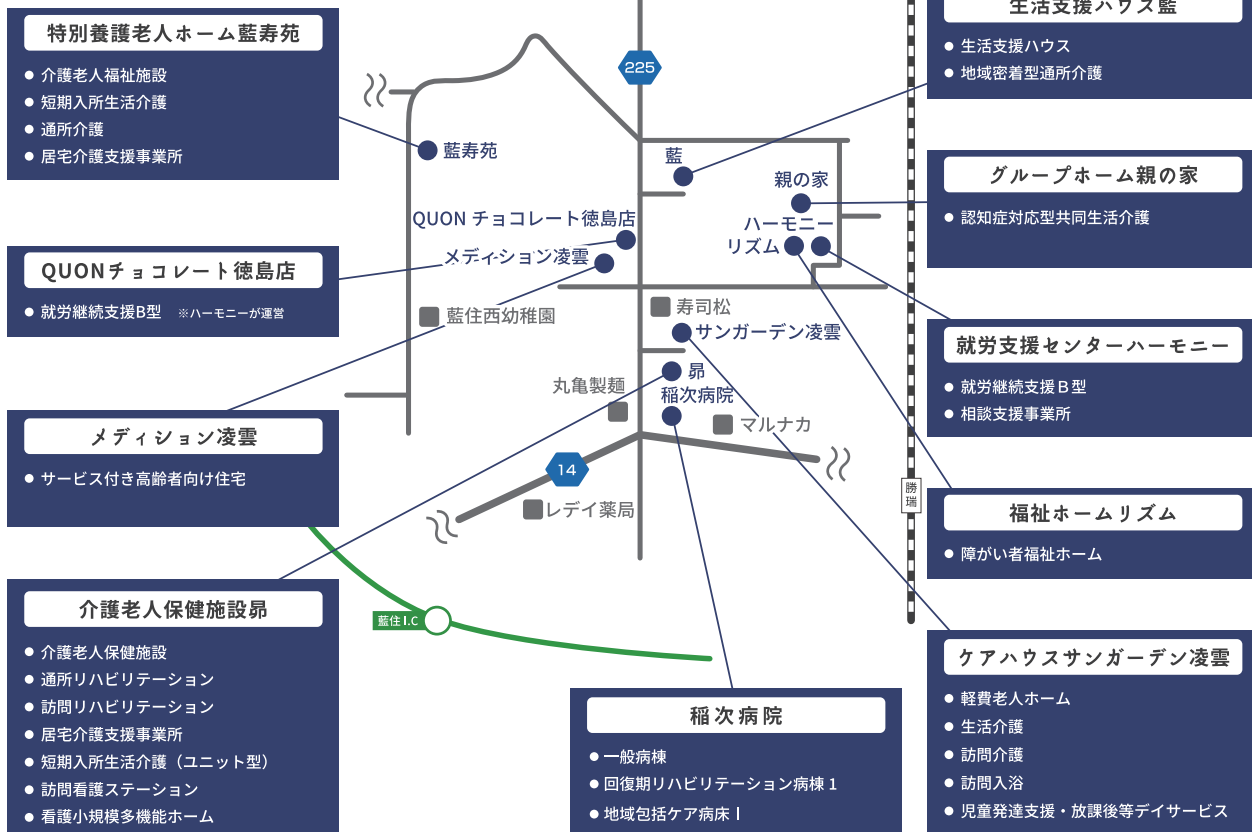
● カリウムを多く含む食品は生野菜・果物・海藻類です



● ジャガイモ ● サツマイモ ● かぼちゃ ● トマト ● きゃべつ
● ほうれん草 ● こんぶ ● わかめ ● 納豆
● 種実類 ● バナナ ● 柿

凌雲グループ施設マップ（藍住エリア版）

藍住町



凌雲グループ ryoun.com

instagram

社会医療法人

稲次病院

TEL.088-692-5757
FAX.088-692-5885


昂通所リハビリテーション

TEL.088-692-0700
FAX.088-662-9394


介護老人保健施設昂入所

TEL.088-692-0700
FAX.088-692-9394


看護小規模多機能ホーム昂

TEL.088-679-8883



メディション万代町

TEL.088-678-2404



社会福祉法人

特別養護老人ホーム藍寿苑

TEL.088-692-5166
FAX.088-692-5258


デイサービスセンター藍寿苑

TEL.088-692-5166
FAX.088-692-5258


デイサービスセンター藍

TEL.088-637-3011
FAX.088-637-3203


障がい者デイセンター凌雲

TEL.088-693-1117
FAX.088-692-6776


こどもリハスタジオメロディー

TEL.088-637-3366
FAX.088-637-3360


QUONチョコレート徳島店

TEL.088-637-3320



就労支援センターハーモニー

TEL.088-693-3011
FAX.088-692-6776


Follow me

Instagramで
情報発信中！

編集後記

寒さを感じ始める季節となりました。お風呂のお湯に浸かり
身体の芯から温まりましょう~♪

広報委員 日浅 拓也